

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
国語	現代の国語	普通科	1年	2単位	精選現代の国語 (東京書籍)	新版カラー版新国語便覧 (第一学習社)

<b>学習の到達目標</b>	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
----------------	--

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
定期考査 など	定期考査(記述問題)、レポート、パフォーマンス評価など	レポート(内容評価) スピーチ・討論等の活動 など

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4	1 自己と他者 「まだ知らない自分に出会う」 「届く言葉」 — 評論の読み方  【話す・聞く】 — わかりやすい説明をする 【書く】 — 手順を整理して正確に伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握している。</li> <li>・ 粘り強く評論の文章構造や対比関係を捉え、学習課題に沿って評論の理解を深め、現代の話題や問題に関心を持つようとしている。</li> <li>・ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</li> <li>・ 「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。</li> </ul>	○	○	○
5	2 認識を深める 「今ここにある無数の未知」 「不思議な拍手」 「水の東西」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> <li>・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>・ 積極的に場面の様子を捉え、学習課題に沿って考えの進め方を整理し、本文中に挙げられている実験から、筆者が推測していることを理解しようとしている。</li> </ul>	○	○	○

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
6	思考への扉1 ―文化の東西 <b>【話す・聞く】</b> ―発想を広げて課題を見つける <b>【書く】</b> ―新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる ―図書館の利用法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・進んでテーマを考え、学習課題に沿って発想を広げて整理して、発表する活動をしようとしている。</li> </ul>	○		
6 ～ 7	3言葉と社会 「言葉は世界を切り分ける」 「まちの豊かさとは何時間と自由の関係について」 思考への扉2 ―コミュニティのこれから <b>【話す・聞く】</b> ―本を紹介する <b>【書く】</b> ―調べた情報を説明資料にまとめる ―グラフや写真の読み取り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>・進んでコミュニティでの活動について筆者の考えを読み取り、今までの学習を生かして人間や社会について考えを深め、自分の考えを討論しようとしている。</li> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</li> <li>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。</li> <li>・積極的に説明資料の作成に必要な情報を収集、整理し、学習課題に沿って伝える相手や目的を意識した説明資料を作成する活動をしようとしている。</li> </ul>	○	○	
9 ～ 1 2	4共に生きる 「真の自立とは」 「自立と市場」 「共鳴し引き出される力」 ―文章を読み比べるために <b>【書く】</b> ―異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く <b>【話す・聞く】</b> ―情報を整理しながら話し合う ―引用の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</li> <li>・粘り強く筆者の捉える「能力」について理解を深め、今までの学習を生かして同じテーマの文章を読み比べ、自分の意見を整理しようとしている。</li> <li>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・積極的にテーマに沿った本を探し、学習の見通しをもって異なる主張の文章を読み比べ、自分の考えが読み手に伝わるように意見文としてまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○



教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
国語	言語文化	普通科	1年	3単位	精選言語文化(東京書籍)	新版カラー版新国語便覧 (第一学習社)

<b>学習の到達目標</b>	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
----------------	--

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
定期考査 小テスト など	定期考査 ワークシート ノート提出 など	授業態度 ノート・課題提出 自己 評価 など

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4	読む 「児のそら寝」 ●古文学習のしるべ1 古文の言葉と仮名遣い ●古文学習のしるべ2 古語を調べるために 読む 「絵仏師良秀」	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。</li> <li>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul>	○		○
5	●古文学習のしるべ3 係り結び／仮定条件と確定条件  小説1 「羅生門」	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考える。</li> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>描かれている内容についての見解をまとめるとともに、発表や討論を通じて得た意見を踏まえて考えを深めようとしている。</li> <li>翻案作品を原作と読み比べ、相違点を読み取り、主題について自分の考えを文章に表している。</li> </ul>	○		○

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
6	<p>読む 「訓読の基本」 訓読・格言・再読文字 〔言語〕 漢字の読みと意味—漢 和辞典を活用しよう</p> <p>読む 「故事成語—三編〔言 語〕」 「矛盾・助長・推敲」 ■漢文の窓1 『韓非子』の寓話の ねらい ■漢文の窓2 「助字」—漢文理解の 鍵</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持つようとしている。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> </ul>	○		○
7	<p>読む 「徒然草」〔言語〕 「ある人、弓射ることを習ふに」 「九月二十日のころ」</p> <p>読む 寓話—三編 「借虎威」 「朝三暮四」 ■漢文の窓3 名前の表し方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul>	○	○	○
9	<p>読む 「伊勢物語」 ●古文学習のしるべ4 和歌の解釈 「芥川」「筒井筒」「梓弓」 〔言語〕『伊勢物語』と 絵画・工芸 ■古文の窓3 恋愛と結婚</p> <p>読む 「土佐日記」 「馬のはなむけ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・進んで古典を元にした絵画・工芸について理解し、学習課題に沿って、文章の内容を捉え直そうとしている。</li> <li>・古典の作品に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> </ul>	○	○	○

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
10	<p>■古文の窓 4 吉日・吉方と旅立ち 「帰京」</p> <p>読む 「一つのメルヘン」 読む 「I was born」 読む 「あいだ」</p> <p>■現代文の窓 I 文語定型詩から口語自由詩へ</p> <p>■古文の窓 5 和語と漢語 読む 「絶句と律詩—八首」 〔言語〕 「鹿柴・春暁・春暁」 「送元二使安西・黄鶴樓送孟浩然之広陵・涼州詞」【春望】【香炉峰下】「雑説」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・詩の構成や表現技法について理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。</li> <li>・音読を通して詩のリズムや効果を退官し、作者の心情について考えを深めている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> <li>・文章の構成や漢文特有の表現を理解できる。</li> <li>・学習課題に沿って、描かれた状況をふまえて作者の主張について考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○
12	<p>読む 史話—三編 〔言語〕 「晏子之御」「管鮑之交」 「臥薪嘗胆」</p> <p>■漢文の窓 5 交友論</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> </ul>	○	○	
1	<p>読む 「平家物語」 「木曾の最期」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで軍記物語特有の表現などについて理解し、学習課題に沿って、登場人物の描かれ方を読み取ろうとしている。</li> </ul>			○
1	<p>読む 「奥の細道」 「漂泊の思ひ」「平泉」</p> <p>読む 論語—十一章 「学問を語る」 「人生を語る」 「政治を語る」</p> <p>中国と日本『論語』の注釈を読む</p> <p>書く 〔言語〕「孔門の十哲」 名鑑を作る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで文章の構成や展開について理解し、学習課題に沿って、作品に込められた作者の思いを読み取ろうとしている。</li> <li>・進んで自分のものの見方、考え方を深め、学習課題に沿って、『論語』を読んで、孔子の学問観・人間観・政治観について考えたり、『論語』の注釈を読んで、自分の考えを伝え合ったりしようとしている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。</li> </ul>		○	○
2	<p>読む 「鏡」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景やほかの作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで本文の内容や構成、展開などを考え、学習課題に沿って、細やかな描写や主人公の心情の変化に注意して、小説を読み味わおうとしている。</li> </ul>		○	○

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
国語	現代の国語	海洋科学科、 農業科学科、 ビジネス科、 生活福祉科	1年	3単位	新編現代の国語 (東京書籍)	カラー版新国語便覧 (第一学習社)

<b>学習の到達目標</b>	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
----------------	--

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
定期考査 など	定期考査 ワークシート発表内容 など	授業態度 ノート提出 自己評価 など

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4	1 自己を見つめる  読む こそめスープ ルリボシカミキリの青  話す・聞く 気になるニュースについて話そう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>・ 粘り強く筆者の主張の要旨を捉え、今までの学習を生かして自分の興味・関心を確認し、考えをまとめ、伝えようとしている。</li> <li>・ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</li> <li>・ 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</li> <li>・ 積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して、自分の考えを発表し、論ずる活動をしようとしている。</li> </ul>	○	○	○
5 ～ 6	2 他者に出会う  読む 水の東西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方についても理解し使っている。</li> <li>・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>・ 比較を通じて粘り強くさまざまな文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。</li> </ul>	○	○	○

	書く 集めた情報の内容を 検討して意見文を書 こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・積極的にさまざまな課題に興味や関心を持ち、選んだテーマに関連する情報を集め、学習の見通しをもって情報の妥当性を吟味しながら、自分の意見を明確にし、意見文を書く活動をしようとしている。</li> </ul>	○	○	○
7	3 言葉と生活 1  話す・聞く 分かりやすい説明を しよう  読む 異なる種類の文章を 読み比べよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</li> <li>・積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> <li>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</li> <li>・進んで複数の文章を読み比べることを理解し、学習課題に沿って異なる種類の文章の書き手の意図を解釈し、自分の考えを深め、発表しようとしている。</li> </ul>	○	○	○
9	4 視野を広げる  読む スキマが育む都市の 緑と生命のつながり 無彩の色  話す・聞く 情報を整理しながら 話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>・進んで筆者の価値観や主張を理解し、学習課題に沿って色彩に対する自分の考えを深め、発表しようとしている。</li> <li>・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。</li> <li>・積極的に「企画会議」の進め方に沿って論点を共有し、学習の見通しをもって提案内容を整理しながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。</li> </ul>	○	○	○
9 ～ 1 0	5 社会と関わる  読む 鍋洗いの日々 森で染める人 真夏のひしこ漁  書く 憧れの職業について 調べ、整理してまと めよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>・筆者の体験談から筆者の仕事や、あるいは自然といった周囲に対する思いを進んで理解し、今までの学習を生かして職業について見聞きしたことを発表しようとしている。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> <li>・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、</li> </ul>	○	○	○

		<p>情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く自分の興味・関心のある対象について調べ、集めた情報の妥当性を検討しながら、学習の見通しをもって読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書こうとしている。</li> </ul>				○
1 1 ～ 1 2	6 言葉と生活 2  話す・聞く 発想を広げる方法を使って話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討し、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</li> <li>・進んで話し合いの題材を考え、学習課題に沿って発想を広げる話し合いをしながら自分の考えを広げ、場に応じた言葉遣いをしようとしている。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方、さらには、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。</li> </ul>	○		○	○
	書く 新聞記事を読んで意見文を書こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・積極的に新聞記事を読んで問題の本質を捉え、学習の見通しをもって根拠と自分の考えのつながりを明確にし、意見文を書く活動をしようとしている。</li> </ul>	○		○	○
1 ～ 2	7 世界とつながる  読む 美しさの発見 りんごのほっぺ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>・粘り強く取り上げられた具体例の展開に注目しながら、筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解し、今までの学習を生かして「美しさ」を知るために必要な感受性の養い方について自分の考えを深め、話し合おうとしている。</li> </ul>	○		○	○
	書く 読み手のアドバイスを生かして紹介文を書こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</li> <li>・積極的に紹介文に必要な情報を収集し、学習の見通しをもって情報を取捨選択し、読み手の助言をもとに、よりよい文章を書こうとしている。</li> </ul>	○		○	○
2 ～ 3	8 未来に目を向ける  読む 不思議な拍手 真の自立とは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>・積極的に場面の様子を捉え、学習課題に沿って考えの進め方を整理し、本文中の内容から自分の考えを深め、筆者が推測していることを理解しようとしている。</li> </ul>	○		○	○

	<p>話す・聞く 資料を活用して発表 しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・進んで分かりやすい発表活動の準備に取り組み、学習課題に沿って聞き手が理解しやすいように発表を行おうとするとともに、他のグループの発表をしっかりと聞いて理解を深めようとしている。</li> </ul>	○		○
--	------------------------------------	---	---	--	---

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
国語	国語総合	農業科学科 海洋科学科 ビジネス科 生活福祉科	2	2	高等学校 新編国語総合 (東京書籍)	標準漢字演習(とうほう) 新版カラー版新国語便覧 (第一学習社)

## 1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語を通して、筋道を立てて論理的に表現したり、相手の立場や考えを尊重して話し合ったり出来る能力を身につける。</li> <li>・様々な文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりし、読書に親しむ態度を育てる。</li> <li>・目的や場面に応じ、効果的に表現する能力や的確に読み取る能力を育てる。</li> </ul>
---------------------	--

## 2 学習計画

学期	学習内容		学習のねらいおよび到達目標
	単元	学習項目	
一学期	随想1 「海流 ミクロネシア」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随想の基本的な読み方を習得する。</li> <li>・自分の周囲の世界に目を向けるきっかけとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難解な語句や表現を調べて理解する。</li> <li>・モーターボートの利用によって起こる問題点を理解する。</li> </ul>
	漢文入門 「五十歩百歩」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句・句法の意味、用法に注意し、本文の内容を読み取る。</li> <li>・故事成語の意味を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の構造、漢語の正しい意味用法を理解する。</li> <li>・漢文を正しく「書き下し文」に書き改める。</li> </ul>
	小説2 「ほおずきの花束」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青春期特有のテーマを扱った現代的な作品を読み、読解力を養う。</li> <li>・登場人物の性格・心情・行動を的確に読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の描写から、登場人物の心情を読み取る。</li> <li>・感動的な出来事ではない、ごくあたりまえのことが、人間の人生を大きく変えることがあるということを理解する。</li> <li>・小説を読むことの面白さを体感させ、今後の自発的・継続的な読書を促す。</li> </ul>
	評論1 「未来をつくる想像力」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者が「社会」をどのようなものだと捉えているか読み取る。</li> <li>・「タブラ・ラサ」の意義を理解し、まとめる。</li> </ul>
	随筆 「うつくしきもの」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の表現に慣れ、作者の考えを読み取る。</li> <li>・作者の考えを踏まえて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の感性を、文章中の具体例によって理解する。</li> <li>・『枕草子』の内容の三分類について、おおそを理解する。</li> <li>・古文の表現に慣れて、文や文章の組み立て、語句の意味や用法を理解している。</li> <li>・自分が考える「うつくしきもの」を文章に表している。</li> </ul>
唐詩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・唐詩を味わい、中国古典文学への関心を高める。</li> <li>・詩に表現された作者の心情・主題について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢詩のリズムを理解して音読できる。</li> <li>・詩中の自然の特色について理解し、それに対して人が抱くイメージや心情をつかむ。</li> </ul>	
二学期	随想2 「里山物語」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随想の読み方について復習する。</li> <li>・人間と自然の関係のあり方について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の段落構成を理解して、筆者の考えを理解する。</li> <li>・本文全体を読んで「せめぎ合いの産物」の意味を理解する。</li> </ul>
	随筆 「奥山に、猫またといふものありて」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の表現に慣れ、作者の考えを読み取る。</li> <li>・作者の考えを踏まえて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「猫また」に関する二つのうわさの内容の違いを考える。</li> <li>・「猫また」に襲われた法師の行動を捉え、その心理を想像する。</li> <li>・最後の一文を解釈し、その効果を考える。</li> </ul>
	評論2 「美しさの発見」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章の展開を明らかにしながら、巧みな論展開の方法を学ぶ。</li> <li>・普段なじみのない美学の問題について読み、思考力・批判力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の段落構成や段落ごとの役割を正しく理解する。</li> <li>・筆者が「美しさ」をどのように捉えているかを理解する。</li> </ul>
	史話 「王昭君」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の展開に即して、内容を理解する力を身につける。</li> <li>・登場人物の生き方や考え方を読み取り、史話の面白さを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史話を読む楽しさや意義について関心を持つ。</li> <li>・登場人物の情報を整理し、話の展開が理解できる。</li> </ul>
	詩 「冬が来た」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の鑑賞の仕方を習得する。</li> <li>・詩に込められた心情を理解する。</li> <li>・作者の人生観、自然観について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩に込められた作者の思いを読み取る。</li> <li>・詩特有の技法を理解し、散文との違いをつかむ。</li> </ul>
三学期	小説3 「夢十夜」 第一夜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢を描いた作品を読み、夢らしさを味わう。</li> <li>・描写に即して「女」と「自分」の心情を的確に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動とその心情を読み取る。</li> <li>・歴史的・社会的な広がりを持つ作品を理解する。</li> </ul>
	意見文を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見文を書くときの注意点を理解し、意見文を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見文の特色と書くことの意義を理解する。</li> <li>・実際に意見文を書き、推敲し、読み合い、批評しあうことで書く養う。</li> <li>・ものの見方・感じ方・考え方を広げる。</li> </ul>

働くということ 「鍋洗いの日々」	・働く人の思いに触れ、社会に生きる自分の将来について考える。	・鍋磨きの意味と、先輩たちの態度の変化について読み取っている。 ・筆者の必死の行動とは何かを理解し、それによって先輩の料理人たちがどのように変化したかを読み取り、まとめる。
随筆 徒然草 「今日はそのことを なさんと思へど」	・人間・社会などに愛する作者の思想や感情を読み取る。	・無常観について理解し、日本文化の特質を考える。

### 3 評価方法

評価の観点 評価の方法	定期考査の成績、課題プリントへの取り組み状況、プリント・問題集・ノート等の提出状況、学習活動全般における態度や姿勢を総合して評価する。
----------------	---

### 4 学習のアドバイス

国語はすべての教科の基本となるものです。日頃から言葉に敏感になり、自分の言語能力を高めようとする意識を持ってください。何より大切なことは、主体的に授業を受けることです。授業では、自分の考えを持つように心がけ、どんどん発言や質問をしてください。